

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
 令和元年度第4回調査・研究部全体会議 通算第4回調査・研究部会議事録

日時	令和元年12月6日(金) 15:00~16:30			場所	電子会議	
部長	高橋 直樹 (三井住友建設)	○	理事	川端 伸一郎 (北海道科学大学)	◎	
副会長	堀越 研一 (大成建設)	○				
幹事長	高野 大樹 (港空研)	○	副幹事長	森口 周二 (東北大学)	◎	
研究・連携・情報委員会			幹事	鈴木 健介 (鹿島建設)	◎	
ワ幹事	橋本 則之 (不動テトラ)	◎	★部員	山田 卓 (大阪市立大学)	◎	
★部員	中井 健太郎 (名古屋大学)	×	ワザハ	後藤 茂 (早稲田大学)	×	
研究発表会委員会			幹事	笠間 清伸 (東京工業大学)	○	
★ワ幹事	清田 隆 (東京大学)	◎	部員	内村 太郎 (埼玉大学)	×	
部員	高井 敦史 (京都大学)	◎	★部員	川井 康右 (川崎地質)	○	
★部員	倉知 禎直 (オリエンタル白石)	◎	ワザハ	高野 大樹 (港空研)	○	

配付資料

資料番号	資料
資料-1-4.0	令和元年度 第3回 調査・研究部運営会議議事録(案) (R1/10/7 開催)
資料-1-4.1	令和2年度第一次予算案集計他
資料-1-4.2	研究委員会の変遷
資料-1-4.3	研究委員会 名簿
資料-1-4.4	第62回地盤工学シンポジウム 企画案他
資料-1-4.5	研究委員会 活動状況
資料-1-4.6	第33回環境工学連合講演会 講演者推薦依頼および回答
資料-1-4.7	図書室整理アルバイト募集
資料-1-4.8	第55回地盤工学研究発表会 DS等応募リスト等
資料-1-4.9	第55回地盤工学研究発表会 新セッション案
資料-1-4.10	第55回地盤工学研究発表会 予算案
資料-1-4.11	第55回地盤工学研究発表会 若手座長推薦依頼他
資料-1-4.12	令和元年度理事会議事録 (R1/10/25,11/22 開催)

I. 前回 (R1/10/7 開催) 調査・研究部会全体会議議事録の確認

(資料-1-4.0, pp.1-4)

→前回 (R1/10/7 開催) 調査・研究部会全体会議議事録は承認された。修正点があれば高野幹事長に連絡する。

II. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 令和2年度第二次予算案

(資料-1-4.1, pp.5-17)

→12/20の令和2年度二次予算案の提出に向けて引き続きブラッシュアップすることを確認した。

2. 名誉会員候補者の推薦依頼

・1月15日締切

→これまで調査・研究部では推薦者が無く、現時点でも推薦者がいないが、もし推薦者がいれば期日までに連絡する。

[報告事項]

3. 創立70周年記念事業の調査・研究部担当

(資料-1-4.2, pp.18-42)

第13回環境地盤工学シンポジウム(終了)、研究委員会の変遷

→70周年記念事業の一つとして、調査・研究部では「研究委員会の変遷」を作成しており、高橋部長の方で今年度中にweb上にアップする予定である。

4. 過年度未収金

なし

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

5. 研究委員会関係

1) 委員の追加

(資料-1-4.3, pp.43-44)

全員、JGS会員

→「地盤環境汚染対策の科学的合理性判定のための調査・試験・評価法研究委員会」および「未曾有の豪雨により複合化した土砂・水災害に遭遇する時代に突入した地盤技術の今後と社会的方策に関する研究委員会」ともに委員の追加について承認された。

6. シンポジウム関係

1) 第62回地盤工学シンポジウム(2020年開催)

(資料-1-4.4, pp.45-46)

テーマ: 地盤工学におけるデータの品質と信頼性, その有効利活用

講師案:

スケジュール:

→第62回地盤工学シンポジウムの講師として、東京大学の市村先生には内諾を頂いている。もう一人の講師として大阪大学の矢吹先生には(高井先生 → 乾先生)経由でお願いしてみる。矢吹先生に快諾を頂ければ45分で2名の講師で講演をお願いすること、もし快諾を頂けなければ市村先生に90分の講演をお願いすることで承認された。

→開催日は11/27開催を本命とし、前回のスケジュールを参考に来年度のスケジュールを作成する。

7. 情報関係

→特になし

[報告事項]

8. 研究委員会関係

1) 研究委員会活動状況報告

(資料-1-4.5, pp.47-48)

橋本部員: 次世代地盤改良技術に関する研究委員会

→下記に示すように10/21に「次世代地盤改良技術に関する研究委員会」主催の講演会が開催された。

山田部員: 地盤環境汚染対策の科学的合理性判定のための調査・試験・評価法に関する研究委員会

→12/4に幹事会が開催され、別紙に示すような議事が討議された。12/19に全体委員会が開催される予定である。

中井部員: 未曾有の豪雨により複合化した土砂・水災害に遭遇する時代に突入した地盤技術の今後と社会的な方策に関する研究委員会

2) 次世代地盤改良技術に関する研究委員会主催講演会 開催報告

日時: 2019年10月21日(月) 15:00~17:00 場所: JGS会館 参加費: 無料

参加者数：12名

講師：Volodymyr Ivanov 博士 (National University of Food Technologies、ウクライナ)

講演タイトル：Biogeotechnical engineering: application of microorganisms and their enzymes in environmental geotechnics

3) 廃炉地盤工学委員会主催講習会 準備状況・開催報告

a. 「現場実験から把握する地下水の実流速 (その3)」に関する講習会

日時：2019年10月18日(金) 9:00~16:30 場所：日本大学文理学部 参加費：無料

参加者数：15名

b. 「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』」に関する講習会

日時：2019年12月10日(火) 14:00~17:30 場所：JGS会館 参加費：無料

申込者数：54名(11月28日現在)

4) 第33回環境工学連合講演会(2020/5/19、日本学術会議講堂)講演者の推薦 (資料-1-4.6, pp.49-50)

→第33回環境工学連合講演会(2020/5/19、日本学術会議講堂)講演者として、大阪大学の乾先生を推薦することとし、承認された。

9. シンポジウム関係

10. 情報関係

1) 図書室整理の課題に対する対応

(資料-1-4.7, p.51)

→専門家への依頼については、費用対応可も考えて取りやめとし、学生のアルバイトを採用し書籍の整理とリスト化を行うこととした。学生のアルバイトについては早稲田大学に依頼しているが現時点では応募が無い旨の報告があった。

IV. 研究発表会委員会

[審議事項]

11. 第55回地盤工学研究発表会(京都大会)

1) DS等の採否

(資料-1-4.8, pp.52-54)

→アンケートの結果、10件のDS希望があった。予定の発表枠内には収まっており、全件採用とすることが承認された。ただし、1件当たり5編の論文が投稿されることが必須であり、5編に満たない場合は採用を取りやめることを確認した。

2) プログラム改革案

(資料-1-4.9, pp.55-56)

→調査・研究部として5つの新セッション案を理事会に提出したが、理事会より意見が出て京都大会では、「開催支部プロジェクト紹介セッション」、「技術PRセッション」、「若手技術者向けセッション」の3案の具現化を進めることとなった。また、理事会より別紙に示す4つのアイデアの検討を実施するような指示があった。

→詳細については今後関係者で議論を行い、アイデアをとりまとめて部員にメールで配信し、審議を行うこととした。

3) 展望

講演者：古関潤一氏(東京大学) 内諾済み テーマ：

→展望については東京大学の古関先生にお願いしており、内諾を頂いている。テーマは「砂地盤の再液状化と模型実験について」という予定であることの報告がなされた。

4) 論文投稿システムの変更

→次年度より、論文投稿システムを変更する。大きな変更点は「発表申し込みと論文投稿を同時にする」と「請求書払いが出来なくなる」点であることが報告された。また、仮のアカウントを各自に送付するので、ログインして不具合等の確認をすることの指示があった。

5) 予算案

(資料-1-4.10, p.57)

→関係者と内容を詰めてから改めて報告する旨の報告がなされた。

12. 今後の検討

・若手座長制度細則

(資料-1-4.11, pp.58-63)

→来年度以降も続ける方向で了承された。それに伴い座長の手引きの修正が報告された。

・研究発表会参加証のIC化(事務作業の効率化)

→今後も検討を進める旨の報告がなされた。

[報告事項]

13. 第54回地盤工学研究発表会(さいたま大会)

→今回は資料がまとまらず、次回改めて報告する旨の報告がなされた。

V. その他

14. 10,11月理事会報告

(資料-1-4.12, pp.64-73)

・調査研究部からの5つの新セッション案を審議

案1：開催支部プロジェクト紹介セッション

案2：技術PRセッション

案3：若手発信セッション

案4：若手技術者（35歳以下：学生含む）を対象とした研究奨励セッション

案5：異分野交流セッション

・案4と案5の内容は過去に実績あるものの、数年で終わっている。

・民間技術者は論文が必要となるとハードルが高くなるため、PPTの縮小印刷版なども可にする等を検討するように。
→京都大会では、民間技術者向けの案1と案2、若手研究者・技術者向けの案3の実施に向けて検討を進める。

次の四つの企画を検討してほしい。

1. 学会賞受賞の発表：論文賞は従来通り行う。技術賞に関しては、別セッションあるいは企業展示室での発表とする（→企業展示へ人が行くようにする）。

2. 災害の報告会：台風19号と昨年の災害を含めて、近畿地方整備局の職員、京都府、大阪府、兵庫県などの自治体職員へのセッションを企画してほしい。←平成30年度豪雨災害に対する学会の提言を実行すべく、自治体・地方整備局関係者に対する提言説明の場とする（⇔特別講演につなげる）。

3. マスコミ対象セッション、維持管理・技術の伝承などに関する自治体関係者で構成されるセッションや交流の場を検討してはどうか。災害情報を伝える役目のアナウンサーさんなどを対象。

4. ハウスメーカーの技術者が気軽に参加できる企画（例えばDS）を検討してほしい。積水ハウスさんが技術展示に出展いただけることになっている。他のメーカーの方々にも声をかけて、ハウスメーカーの地盤技術者をたくさん呼び込んでほしい。

ちなみに、積水ハウスの地盤技術者の方は、「建築研究開発コンソーシアム」という団体の中で活動している
(<https://www.conso.jp/index.php>)

→その他既に報告の通りであることが確認された。

15. 理事会（令和元年12月20日（金））開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項]

16. 総務部会（令和2年1月17日（金）開催予定）への提案事項

→別途改めて報告する旨の報告がなされた。

★ 令和元年度 調査・研究部会 開催日程（予定含む）

① 6月27日（木）

② 8月30日（金） ※WEB 審議

③ 10月7日（月）

④ 12月6日（金） ※WEB 審議

⑤ 4月3日（金）

★ 令和元年度 理事会 開催日程（予定含む）

① 4月19日（金） ※書面審議

② 5月17日（金）

★ 6月7日(金) 総会/理事会

③ 6月14日(金) ※書面審議

④ 7月26日(金)

⑤ 9月20日(金)

⑥ 10月25日(金) ※書面審議

⑦ 11月22日(金)

⑧ 12月20日(金) ※書面審議

⑨ 1月24日(金)

⑩ 2月21日(金) ※書面審議

⑪ 3月13日(金)

⑫ 4月17日(金) ※書面審議

⑬ 5月15日(金)

★ 6月5日(金) 総会/理事会